

平成28年度 防犯ボランティア活性化フォーラム

平成29年1月24日(火)、名古屋市東区のウィルあいちにおいて、防犯ボランティア団体の課題を洗い出し、解決策を見出すことで、防犯ボランティア団体自体や、これを支援する行政、警察がそれぞれ取り組むべき方向性を考える機会として、自治会や防犯ボランティア団体、自治体職員、警察署員など約170名が参加するフォーラムを開催しました。

<基調講演>

演題：工夫して、続ける、防犯ボランティア活動

講師：摂南大学法学部 准教授 中沼丈晃 氏

概要：○防犯ボランティアには、誰でも参加しやすいという特徴がある一方で、効果が見えにくく、続かないという問題がある。

○理屈はともあれ、まずは形からの防犯をしてもらうことも大事。

○続けるためには工夫が必要であり、工夫することでやりがい生まれ、やりがいがあるから続けることができる。



<自治体取組発表>

テーマ：安城市における防犯ボランティア活動への支援

発表者：安城市市民安全課 主幹 水野智之 氏

概要：安城市で実施した防犯ボランティアリーダー養成講座の内容、養成した防犯ボランティアリーダーによる活動等についての発表を行いました。



<防犯ボランティア団体発表>

テーマ：大森学区の防犯活動について

発表者：大森学区連絡協議会 山田豊明氏 (守山区)

概要：同協議会で実施している防犯パトロールの内容、自治体の補助金や委託金を活用した活動等についての発表を行いました。

